

社会科学習指導案

第5校時 14:00～14:50
学 級 1年B組
授業場所 1年B組教室
授 業 者 村上俊一

1. 単元名 「北アメリカ州～さかんな農業や工業の特色」

2. 単元について

本単元は、学習指導要領の地理的分野大項目、「(1) 世界の様々な地域」のうちの4つの中項目中「ウ 世界の諸地域」に含まれている。この中項目では、世界の「各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題をもうけて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。」ことをその内容としている。この中項目では、「州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させるようにすること」(内容の取り扱い)とある。そして、それぞれの州の地域的特色を理解させるためには、まず「基礎的・基本的な知識を習得する学習を行い、それらの知識を活用して中学校第1学年の生徒の生活と結びつく地理的事象を取り上げ、生徒の関心と結びつきやすい主題を設定し追究するなかで、地域的特色が明らかになるように学習を展開していくことが大切である」(指導要領解説、社会編)とある。

今回取り扱う「北アメリカ」では、～さかんな農業や工業の特色～を主題として設定する。具体的には、「超大国アメリカ～農業や工業が盛んなのはなぜか～」という問いを解決していくこと中心に置きながら、アメリカの巨大な生産と消費の人々の生活様式をわからせることで、北アメリカの地域的特色を理解させていきたい。

具体的には、「北アメリカを大きくながめて」では、北アメリカの地形の特色を作業を行いながら把握させ、雨温図の読み取りからアメリカの気候の特色を理解させる。次に、世界の大企業ランキング、日本の主な輸入品の貿易相手国などのグラフを読み取っていく中から、主題解決の足がかりを考えさせていきたい。「広大な国土と工業化した農業」では、アメリカの農業の特色を、各種資料からとらえるとともに、アメリカが多様な農産物を大量に生産できる理由を気候の面や生産方法の面などから、多面的に考察させていきたい。「工業の発展と工業地域」では、アメリカの工業の特色を統計資料などから読み取らせるとともに、新旧の工業地域が発達した理由を、地図や統計資料から考えさせたい。最後に「アメリカで生まれた生活・文化」では、アメリカ発の生活様式や文化が、世界に広がるとともに私たちの生活にも見ることができるところを、身近な例を通して関心を持つとともに、ヒスパニックを例にして、「移民の国」「多民族国家」のアメリカが抱える問題点を把握させていきたい。これらの学習を通じて、アメリカの大規模化した農業や工業の発展した理由をとらえさせるとともに、アメリカ文化が私たちの日常生活に入り込んでいることを認識させたい。また、アメリカの学習を通じて、「大量生産、大量消費」といった価値観の見直しや、21世紀に入ってからアメリカの国際的立場の変化についても触れていくことができると考えている。

3. 生徒の実態(1年B組 男子17名 女子14名 計31名)

(1) 全体的におとなしい学級である。活発に意見を述べる生徒は男子生徒に多く、女子はおとなしく、おだやかな傾向がある。白地図に地名や国名などを記入する作業学習には、比較的集中して取り組むが、一対一の指導をしないと作業ができない生徒も2～3名いる。以下は、本学級のアンケートの結果である。

(2) 事前調査の設問

- | | |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 北アメリカにある国の国名を答えなさい。(複数書いても可) |
| 2 | 世界地図の中で、北アメリカの位置がわかります。
はい いいえ |
| 3 | 世界地図の中で、アメリカ合衆国の位置がわかります。
はい いいえ |
| 4 | 次の作物のうち、アメリカ合衆国でたくさん(世界のベスト5くらい)生産していると思われる作物(畜産物)はどれですか?そのように思う作物を、○でかこんでください。
米 小麦 大豆 とうもろこし 綿花
野菜 果物 牛肉 豚肉 牛乳 |
| 5 | 次の資源のうち、アメリカ(合衆国)でとれる資源でたくさんとれる(世界のベスト5くらい)と思われる資源はどれですか?そのように思うものを、○でかこんでください。
鉄鉱石 石炭 石油 天然ガス |
| 6 | つぎのもののうち、アメリカ(合衆国)でたくさん生産している(世界のベスト5くらい)と思われるものはどれですか?そのように思うものを、○でかこんでください。 |

鉄鋼	自動車	オートバイ
コンピュータ	携帯電話	飛行機

- 7 もともとアメリカ（合衆国）の会社で、海外に進出している会社（日本に進出しているアメリカの会社も含む）の名前を、知っているだけ書いてください。
- 8 アメリカ合衆国はどんな国だと思いますか？

(3) 事前調査の結果 回答数：男子17名、女子13名（1名欠席）計30名

- 1 北アメリカにある国の国名を答えなさい。（複数書いても可・自由記述）
 アメリカ22名（73.3%） カナダ14名（46.7%）
 メキシコ4名（13.3%） ロシア2名（6.7%）
 チリ、ブラジル、スペイン、フランス、アラスカ各1名
- 2 世界地図の中で、北アメリカの位置がわかります。
 はい：28名（93.3%） いいえ：2名（6.7%）
- 3 世界地図の中で、アメリカ合衆国の位置がわかります。
 はい：27名（90%） いいえ：3名（10%）
- 4 次の作物のうち、アメリカ合衆国でたくさん（世界のベスト5くらい）生産してると思われる作物（畜産物）はどれですか？そのように思う作物を、○でかこんでください。（複数回答可）
 麦：20名（66.7%） とうもろこし：19名（63.3%）
 4位 1位
 牛肉：11名（36.7%） 豚肉：8名（26.7%）
 1位 2位
 大豆：6名（20%） 果物：6名（20%）
 1位
 綿花：4名（13.3%） 野菜：4名（13.3%）
 3位
 牛乳：3名（10%） 米：3名（10%）
 ベスト5外 以下順位は、帝国書院地図帳,世界の主な産物より
- 5 次の資源のうち、アメリカ（合衆国）でとれる資源でたくさんとれる（世界のベスト5くらい）と思われる資源はどれですか？そのように思うものを、○でかこんでください。
 鉄鉱石：14名（46.7%） 天然ガス：11名（36.7%）
 7位 1位
 石炭：5名（16.6%） 石油：3名（10%）
 2位 3位
- 6 つぎのもののうち、アメリカ（合衆国）でたくさん生産している（世界のベスト5くらい）と思われるものはどれですか？そのように思うものを、○でかこんでください。
 コンピュータ：15名（50%） 自動車：15名（50%）
 ※パソコン 中国が97.6% 3位
 オートバイ：9名（30%） 携帯電話：8名（26.7%）
 なし ※北アメリカ6位
 飛行機：5名（16.6%） 鉄鋼：0名（0%）
 ※旅客機（ジェット）2位 ※粗鋼3位
- 7 もともとアメリカ（合衆国）の会社で、海外に進出している会社（日本に進出しているアメリカの会社も含む）の名前を、知っているだけ書いてください。
 マクドナルド：17名（56.7%） アップル：12名（40%）
 ケンタッキー（フライドチキン）5名（16.7%）
 スターバックス：7名（23.3%） グーグル：4名（13.3%）
 コカコーラ：4名（13.3%）

ヤフー、トヨタ、ニッサン、ユニクロ、セブンイレブン：2名（各6.7%）
他すべて1名：コストコ、g u、BMW、ホンダ、ハリウッド、アマゾン、
サマンサ・タバサ、フェラーリ、マイクロソフト、H&M、車、a u、ソフトバンク、
ベルタースオロジナル、P L A Z Aのお菓子

8 アメリカ合衆国はどんな国だと思いますか？

広い：5名 自由：4名 人が大きい：4名 体が大きい：3名

武器や銃を使う：2名 黒人の国：2名

以下はすべて1名>

ハッピーなことしか考えていない国、スラム、大きなC I T Y、いろいろな物を生産、
あまりよくない国、輸出、輸入、ファストフード、すごい国、家に靴ではいる、
すべてがB i g、すごい、高層ビル、ハンバーガー、ビューティフル、株、
ハイテンションな国、にぎやか、すごい俳優がいる、軍が強そう、
いろいろなものが進んでいそう、最新なものがいっぱいありそう、食べ物が多い、肉、
便利な生活←→二酸化炭素多い、白人黒人の共存、ハンバーガーがた くさんある、
コーラ飲んでそう、面積も広いのでよさそう、オバマな国、雑、2つに分かれている国

（4）事前調査の分析

①関心・意欲

「7 もともとアメリカ（合衆国）の会社で、海外に進出している会社（日本に進出しているアメリカの会社も含む）の名前」では、マクドナルド、ケンタッキーフライドチキンなどのファストフード店とともに、スターバックスコーヒー、コカコーラなど飲み物関連などの認知度が高かった。また、アップル（ipodなどの影響か）の認知度も高かった。総じて、自分の生活に関連する物についてはアメリカ企業の認知度が高い傾向にある。これらのことを利用しながら、「多国籍企業」についての学習を進めていくと、効果的であろう。（本時）一方製造業分野のアメリカの多国籍企業についても補足をし、多国籍企業がファストフードの企業だけではないことも確認させたい。

②思考・判断・表現

「8 アメリカ合衆国はどんな国だと思いますか？」では、アメリカ（合衆国）を特定のイメージでとらえている傾向はさほど強くない。「（人）が大きい」が7名、「広い」が5名であることから、「大きい」というイメージを持つ生徒、また「自由の国」アメリカのイメージを持つ生徒も若干いる。

本単元の「広大な国土と工業化した農業」においては、広い国土とその中で展開される大規模農業の学習において、「大きい、広い」というイメージを農業と結びつけつつ、資料を通じて具体性を持たせていきたい。

また、アメリカに対してステレオタイプのイメージを持つのではなく、学習を進めていく中で、学習した内容に基づいた適切なアメリカへのとらえ方ができるよう、教師が意識して授業を進める必要がある。また全体的に、「国」のとらえ方をしっかり説明しようとして文章で書いた生徒がほとんどいなかったため、今後「文を書いて説明すること」を学習の中に取り入れていく必要がある。

③資料活用

「2 世界地図の中で、北アメリカの位置がわかります。」「3 世界地図の中で、アメリカ合衆国の位置がわかります。」については生徒の自己申告であるが、北アメリカ、アメリカ合衆国の地図上での位置は大半の生徒が正しく認識している。ただし、「1 北アメリカにある国の国名を答えなさい。（複数書いても可）」との関連から、カナダやメキシコなどの位置については正しく示せない可能性もある。授業の中で幾度か確認しながら、アメリカ以外の国についても正しい位置がわかるようにしていきたい。

④知識・理解

「4, 5, 6」については、農業、鉱工業の質問であったが、項目を列記したため、ほとんど生徒が勘で記入する状態であった。全問とも最初の項目の%が最も多く、徐々に低くなっていることから、そのことがうかがわれる。これらに関しては、統計資料やグラフ等を使用しながら、アメリカの農業た鉱工業の生産量や世界の中のアメリカの立場を、データを通じて正しく認識させていくことが必要である。

4. 指導目標

- （1）北アメリカ州の地域的特色を理解するために、「超大国アメリカ～なぜ農業や工業が盛んなのか～」という問いを解決していく手立てを考えさせる。 <関心・意欲・態度>
- （2）北アメリカ州の学習テーマを追求していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察し、その過程や成果を適切に表現させる。 <思考・判断・表現>

(3) 北アメリカ州に関する統計資料の分析、主題図や写真の読み取りや比較、関連づけなどの地理的スキルを育ませる。＜資料・活用＞

(4) 北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を身につけさせる。＜知識・理解＞

5. 指導計画と評価規準(4時間扱い:本時は1/4)

単元名(小単元)	学習目標	時配	評価規準			
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
・北アメリカをながめて	<ul style="list-style-type: none"> ●北アメリカの自然、文化、産業の特色について、資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ●北アメリカの地域的特色を理解するために、「アメリカ合衆国では、なぜ工業や農業の生産が高いのか」という問い、追究する手立てを考える。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ●「アメリカ合衆国では、なぜ工業や農業の生産が高いのか」という問いを解決する手立てを考えようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ●大陸と島からなる自然、新しい文化などの特色を概観し、理解している。
・広大な国土と工業化した農業	<ul style="list-style-type: none"> ●アメリカの大規模で合理的な農業の特色を、写真、グラフ、分布図などから読み取る。 ●アメリカが多様な農産物を大量に生産できる理由を、気候、生産方法、経営者のそれぞれの視点から考察する。 	1		<ul style="list-style-type: none"> ●アメリカが多様な農産物を大量に生産できる理由を、気候、生産方法、経営者のそれぞれの視点から説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アメリカの大規模で合理的な農業の特色を、主題図や写真などの様々な資料を関連付けて読み取っている。 	
・工業の発展と工業地域	<ul style="list-style-type: none"> ●アメリカで発展してきた重工業や先端技術を用いた工業の特色を読み取る。 ●アメリカの工業は、広大な国土と豊かな資源に加えて、ヨーロッパやアジアからの移民の存在によって発展してきたことを理解する。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ●アメリカでは、移民が産業の発展に重要な役割を果たしてきたことを理解している。(知識・理解) 		<ul style="list-style-type: none"> ●アメリカの大西洋岸や五大湖沿岸と、サンベルトの二つの工業地域について、おもな工業の種類とそれが発展した理由を比べながらまとめている。(技能) 	
・アメリカで生まれた生活・文化	<ul style="list-style-type: none"> ●アメリカの生活・文化が、世界の国々に与えている影響について関心を持つ。 ●「アメリカ合衆国では、なぜ工業や農業の生産が高いのか」という学習テーマの答えを、これまでの考察をもとにまとめる。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ●日本にも広がるショッピングセンターやファストフードなど、世界に広がるアメリカ文化に関心を持っている。(関心・意欲・態度) 	<ul style="list-style-type: none"> ●アメリカ・カナダ、メキシコ・中央アメリカ・西インド諸島の二つの地域の間に見られる人々などの結びつきについて知る。(思考・判断・表現) 		

6. 本時の指導

(1) 本時の内容

・北アメリカを大きくながめて～北アメリカの特色をとらえよう～

(2) 本主題の目標

・北アメリカの自然・文化・産業の大まかな特色について、作業や資料から概観し、理解することができる。
＜知識・理解＞

・「超大国アメリカ～なぜ農業や工業が盛んなのか～」という問いを解決していく手立てを考えさせる。
＜関心・意欲＞

(3) 本時の展開

時配	学 習 内 容 と 活 動	教師の支援 (○) と留意点 (●)	評価の観点
導入 5 分	<p>○世界の中の北アメリカ州について概観する。 「面積・人口・GDPのグラフをみて、何か気づいたことはありますか？」</p>	<p>○教科書P73、「世界の中の北アメリカ」面積・人口・GDPの円グラフ(D)を示し、グラフを見て気づいたことを発表させる。 ●面積(世界の約1/10)人口(世界の約1/12)なのに対し、GDPが突出(約1/3弱)であることに気づかせる。</p>	
展開 40分	<p>○学習課題を確認する。 学習課題 北アメリカ州をながめて～北アメリカ州の特色を、自然・文化・産業の面から大きくとらえよう～</p> <p>○北アメリカの国名と地形についての作業を行う。(仮説2) 「教科書P73の地図を見ながら、プリントにあてはまる地名や国名を記入しましょう」 ○国名・地形の答え合わせをする(仮説3)</p> <p>「北アメリカの地形は、西側を南北にのびる高く険しいロッキー山脈、中央にはミシシッピ川と中央平原、東には低くなだらかな山脈があります」</p> <p>○北アメリカの気候について雨温図から気候帯を読み取る。(仮説2) 「教科書P74の4つの雨温図を見て、それぞれの気候帯に属するか考えて見ましょう。」 「アメリカは、北極海に近い側から寒帯、アンカレジやカナダの大半の冷帯、アメリカ合衆国ではロサンゼルスやニューヨークなどの温帯や大陸西側の乾燥帯、さらに南へ行くとハバナのような熱帯、といったように、多様な気候を見ることができます。」</p> <p>○グラフから、人口構成の状況を読み取り、その理由を考える。 「ヨーロッパ、アフリカ系の人たちはもともとアメリカに住んでいたのでしょうか？」 ○宗教や言語についても、移民の影響があることを知る。 「移民の人たちが本国の文化を持ち込んだため、アメリカやカナダでは英語、その他はスペイン語が使われています。また、多くの人々がキリスト教を信仰しています。」</p> <p>○資料「世界の大企業ランキング」(上位50社)のうち、アメリカの企業はいくつぐらいあるか、考える。 「このデータは営業利益が世界でベスト50位までの会社が掲載されています。この中でアメリカの会社はいくつぐらいあると思います</p>	<p>●机間指導を行い、作業に手間取っている生徒等の指導をする。</p> <p>○教科書P73の地図(D)を見ながら答えの確認をする。 ●答え合わせは教師主導で行う。 ●北アメリカの地形が概観できるような説明を加える。 ○必要に応じ、北アメリカの断面図を使って地形の特色を説明する。</p> <p>○教科書P73の4つのグラフ(D)を示し、降水量と気候の傾向から気候帯を読み取らせる。 ●教科書P40世界の気候区分(D)から、北アメリカの気候が多様であることを補足する。</p> <p>○教科書P80「アメリカの人口構成」(D)のグラフから、ヨーロッパ系が8割、アフリカ系が約1割であることを注目させる。 ●ヨーロッパ、アフリカ系の人々が移民としてやってきたことを把握させ、その理由について深入りしない。 ●宗教や言語については、教師が簡単に説明する程度に留める。</p> <p>○世界の大企業の中にアメリカ企業が多くあることを知らせる。 ●マイクロソフト、ジョンソン&ジョンソンなどの企業名をあげ、多国籍企業について説明する。 ●時間があれば、アメリカ、カナダ、</p>	<p>作業に意欲的に取り組んでいる。(関心・意欲)</p> <p>地形の特色について理解できる。(知識・理解)</p> <p>雨温図を読み取り、どの気候か識別することができる。(資料)</p> <p>グラフからその傾向等を読み取ることができる。(資料)</p> <p>グラフから傾向等を読み取ることができる(資料)</p>

	<p>か」 「実はこのデータでは、上位50社中16社がアメリカの企業です。ちなみに日本の企業は2社（トヨタとNTT）です。」 ○日本の輸入のおもな輸入品の貿易相手国のグラフを見て、傾向を読み取る。 「グラフの5項目について、木材以外はアメリカが輸入相手国の1位です。また、トウモロコシはアメリカからの輸入が90%をこえ、大豆も70%に近いことがわかります。」 ○アメリカは、豊富な資源と広大な国土、工業力から世界の超大国といわれ、農業や工業が盛んに行われていることを知る。 「世界の超大国アメリカの農業や工業について、どのようなことがわかれば（調べていけば）いいでしょうか？」（仮説1）</p>	<p>メキシコの貿易の結びつきについて軽く触れる。</p> <p>○教科書P75の棒グラフ(D)から、5つの品目についてはアメリカからの輸入が多いことを知らせる。 ●アメリカは小麦や大豆の生産など、農業が盛んに行われていることを示唆する。 ●教科書に記述に「豊富な資源、広大な国土と工業力で…」と書いていることを知らせる。 ●意見が出ない場合は「超大国の農業」「超大国の工業」という言葉から連想するもの、ことを述べさせる。</p>	<p>グラフから傾向等を読み取ることができる（資料）</p> <p>超大国アメリカの産業を追究するためにどうすればよいかを考えている。（思考・判断・表現）</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>○アメリカ合衆国を中心に、広大な国土を活用し、どのように農業を行っているのか、豊富な資源のなかで、どのように工業が発達したのかを今後学習していくことを確認する。</p>	<p>●「世界の超大国」の視点から、アメリカの生活や文化とその影響力についても学習することを補足する。</p>	

※指導案中 (D) は、デジタル教科書で提示することを示す。

(4) 板書計画

4節 北アメリカ州

1. 北アメリカ州をながめて

北アメリカの特色を、自然・文化・産業の面から大きくとらえよう

＜新しい生活と文化の誕生＞

アメリカ人口構成 ヨーロッパ系 アジア系 アフリカ系
先住民
アメリカに移り住んだ人々＝移民

＜大陸と島々＞
北アメリカ大陸 言語：英語、フランス語、スペイン語
宗教：キリスト教

ロッキー 冷涼 ＜産業と経済＞
山脈 さ 平原 ミシシッピ アメリカの大企業→外国に進出：**多国籍企業**
ば 温暖 日本のおもな輸入品：小麦、大豆、とうもろこし
く ○ →多くをアメリカから
カリブ海 ……実は「世界の超大国、アメリカ」
盛んな農業？ **盛んな工業？**

広い土地で、何を、どのようにどれくらい作っているか？
資源の量？何を、どれくらい生産
+生活・文化

(5) 本時の評価及び方法

- ・北アメリカの自然・文化・産業の大まかな特色について、作業や資料から概観し、理解することができたか。 ＜知識・理解＞
- ・「アメリカ合衆国では、なぜ工業や農業の生産が高いのか」という問いを解決していく手立てを考えたことができたか。 ＜関心・意欲＞